

令和3年度 幼稚園の人材確保支援事業（概要版）

（一社）新潟県私立幼稚園・認定こども園協会

背景

- ・新潟県における幼稚園教諭養成専門課程のある大学は2校、短期大学は2校であり、県内養成校の出身者が少ない
- ・新潟県の地理的な問題（県内大学への通学であっても下宿が必要な学生が大半）により、大学(短期大学)進学希望者は県外、特に関東圏へ進学(人材の県外流出)する
⇒新規採用がとても厳しい（新規採用の促進並びに養成の充実が必要）
- ・加盟園が取り組んでいる幼児教育の質の向上（キャリアパス制度の効果的な運用による質の高い幼児教育の実践）を目指すことで幼稚園教諭を確保する
⇒離職防止・定着促進につなげる

主な取り組み内容	成果と課題
<p>①幼稚園・こども園就職フェアオンラインの開催 【新規採用の促進・離職者の再就職促進 共通】 * WEB合同説明会(サイト)の開設 (1)加盟園情報の提供(園概要、求人情報、園見学、園動画等掲載) (2)プロモーションビデオ(2本)の制作、サイト公開(YouTube) (3)現任教諭によるトークセッション、Uターン就職経験者へのインタビュー 動画テーマごとに再構築し希望者に対し限定配信 (4)リアルタイムオンライン相談会システムの構築、実施</p> <p>* 県内養成校との懇談会(年2回)の開催 就職フェアに係る協議・参加要請、高校生へのPRIに係る協議・協力依頼 学生の就職活動の動向や教育実習に係る協議</p> <p>* 県担当部局との連携強化 県外大学に通う学生並びに離職した再就職希望者に向けた情報提供の 協力依頼(チラシの配布・設置、県U・Iターン総合サイトの利用、東京都に ある新潟県アンテナショップ等の利用) 高校生向けPRチラシの県内高等学校への配布協力依頼</p>	<p>◎新型コロナウイルス感染症への感染拡大防止のため、昨年度に続きWEB形式の開催とした。昨年と比較してユーザー数が約3倍に増えており、養成校との懇談会を通じた周知や県担当課を通じた県外学生や離職者への情報提供、養成の充実を目的に参加対象を高校生にまで広く設けPRしたことに加えて、本事業を長期・複数回にわたり実施した成果が表れた。</p> <p>◎新潟県関係部局へ協力依頼し、県外学生へのチラシ配布や新潟県U・Iターン総合サイトへリンク等継続した対応を依頼した結果、県サイトから本WEBサイトへアクセスしたユーザー数が増加した。</p> <p>◎養成校との懇談会においては、県外への人材流出が少数にとどまったことが養成校から提供された学生の就職状況より確認できた。継続して懇談会を実施した効果が表れた。養成の拡大を目的に作成した高校生向けPRチラシは養成校から一定の評価を得ることで、PRの積極的な協力を得ることが出来た。</p> <p>課題</p> <p>*昨年度の受講者の意見を踏まえ新たに取組んだリアルタイムのオンライン相談会には県外に通う学生から申し込みはあったが県内の養成校に通う学生、再就職を希望する離職者や高校生からの申し込みはなく、利用者は少数に限られた。新たに取組んだ事業であったため、周知のみならず積極的に活用してもらえる方策や参加しやすい期日の設定等の検討が必要。</p> <p>*新型コロナウイルス感染症の影響により、養成校での授業は引き続き対面ではなくオンラインが主流であったことから、学生への周知方法について多用な方策の検討が必要。</p> <p>*就職フェアに参加する加盟園の情報について労働環境や処遇だけでなく、園がそれぞれ大切にしている独自性についても周知できるような工夫が必要。</p>
<p>②研修会の実施(年4回) 【離職防止・定着促進(働き方改革)】 (1)「令和の日本型学校教育と幼児教育～幼児教育の実践の質向上に関する検討会の協議から～」 (2)「キャリア開発支援」～人材育成と離職防止のためのキャリアパスづくりに向けて～ (3)「～少子化・園児減少・供給過多時代の園経営～教職員が定着する園運営と押さえておきたい労基法」 【新規採用の促進・離職者等の再就職促進】 (4)幼稚園経営者の人材採用戦略～幼稚園・認定こども園の採用戦略セミナー～</p>	<p>◎研修会の受講者アンケートによれば、いずれの研修においても82.7%以上が研修内容について満足、まあ満足と回答しており、講師の選定や研修内容を工夫した成果が表れた。</p> <p>◎取り組み事例や具体的なモデルを提示したり、研修後自園で取り組めるようワークの時間を設ける等工夫をしたことにより、85.7%以上が研修内容は離職防止・定着促進や新規採用の促進・離職者等の再就職促進を図るための園の取り組み(対策)に役立つと思うと回答する大変有意義な研修を行うことができた。</p> <p>課題</p> <p>*新型コロナウイルス感染症の影響が大きく目標値より参加者が少なかった。開催期日や内容についておおむね満足というアンケート結果ではあったが、開催方法や講師の選定、研修内容について検討が必要。</p> <p>*加盟各園におけるキャリアパス作りを促すため、キャリアパスの重要性、幼児教育の質の向上と教職員の意欲向上や離職防止につながることを各園に理解してもらい取り組んでもらうための方策の検討が必要。</p> <p>*キャリアパスと各園の学校評価や処遇改善との関連について検討が必要</p>
<p>③キャリアパス導入園への運用支援 【離職防止・定着促進(働き方改革)】 調査協力3園において園の実情に合わせた講師による運用支援を実施 (1)講師による講演(研修) (2)シート(保育の面白い場面を探そう)づくり (3)保育者同士の記録の共有化</p>	<p>◎保育の面白い場面を写真で可視化し伝えるシートを活用したことで、保育者自身の子どもを捉える視点が変容した⇒保育者同士の共有関係の構築、保育者のやりがいと自信につながった。</p> <p>◎シートを活用し、子どもの育ちを保護者へ発信⇒よいフィードバックがあり保育者自身の励みとなった。</p> <p>課題</p> <p>*加盟園へのキャリアパス導入普及のための方策の検討が必要。</p> <p>*蓄積した記録シートの情報の共有化の方法とさらなる活用方法の工夫について検討が必要。</p> <p>*キャリアパス導入による業務の加算だけでなく、既に行っている業務に利用する等効率化の検討が必要。</p>